

1. 次の [] にあてはまる言葉を書き入れなさい。
- (1) 資料を昇順(小さい順)に並べたとき、
25%の位置になる値を第 [] 分位数、
50%の位置になる値を第 [] 分位数(中央値)、
75%の位置になる値を第 [] 分位数という。
ちよどの値がないときは、前後の値の平均をとる。
- (2) 度数の最も多い資料の値を [] という。
- (3) 資料の値の合計を全体の度数で割った値を [] という。
- (4) データの値と平均値の差を [] という。
- (5) 偏差の2乗の平均値を [] という。
2. 4年生の試験前の勉強時間を調べると、次の表になった。
次の値を求めなさい。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ぶん分	0	0	10	20	20	20	30	30	40	50	60

さいしょうち

最小値

だい いち し ぶん い すう

第 1 四分位数

さいだいち

最大値

だい に し ぶん い すう

第 2 四分位数

さいひんち

最頻値

だい さん し ぶん い すう

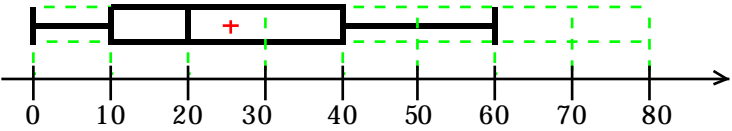
第 3 四分位数

ごうけい

合計

へいきん ち

平均値



3. 3年生(3修制)の試験前の勉強時間を調べると、次の表になった。次の値を求め、箱ひげ図を描きなさい。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ぶん分	30	40	40	50	50	50	60	60	60	60	70	70

さいしょうち

最小値

30

だい いち し ぶん い すう

第 1 四分位数

50

さいだいち

最大値

70

だい に し ぶん い すう

第 2 四分位数

55

さいひんち

最頻値

()

だい さん し ぶん い すう

第 3 四分位数

60

ごうけい

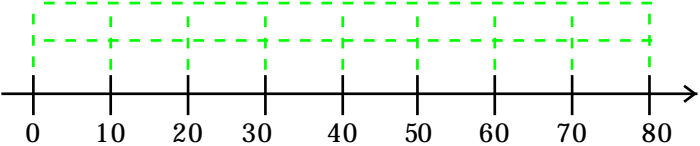
合計

()

へいきん ち

平均値

()



4. 次の度数分布表より、次の値を求め、ヒストグラムと箱ひげ図を描きなさい。

かいきゅう 階級	かいきゅうち 階級値	どうすう 度数	かいきゅうち 度数 階級値 × 度数
以上 未満 1 ~ 3	2	6	
3 ~ 5	4	5	
5 ~ 7	6	4	
7 ~ 9	8	3	
9 ~ 11	10	2	

さいしょうち

最小値

だい いち し ぶん い すう

第 1 四分位数

さいだいち

最大値

だい に し ぶん い すう

第 2 四分位数

さいひんち

最頻値

だい さん し ぶん い すう

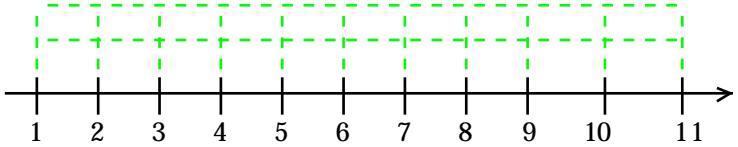
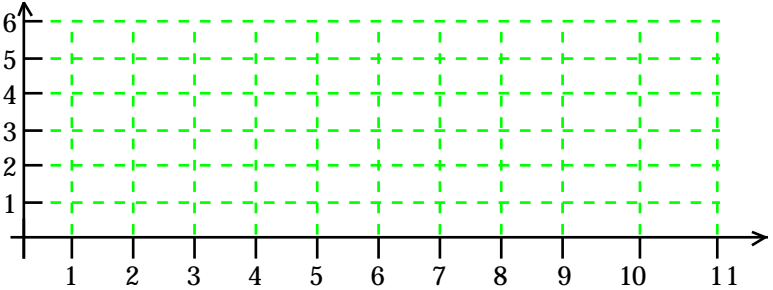
第 3 四分位数

ごうけい

合計

へいきん ち

平均値



5. 次の度数分布表(平均値 5.0)から、分散を求めよ。
(偏差)² × 度数の平均 or (階級値)² × 度数の平均 - (平均値)²

かいきゅう 階級値	どうすう 度数	へんさ 偏差	(へんさ) ² × 度数	(かいきゅうち) ² × 度数
2	6			
4	5			
6	4			
8	3			
10	2			
ごうけい 合計				
へいきん 平均				